

1. 七隈線延伸事業の進捗状況について

- 1. 全体スケジュールP1
- 2. 工事の進捗状況P1~2

令和2年11月16日(月)

福岡市交通局

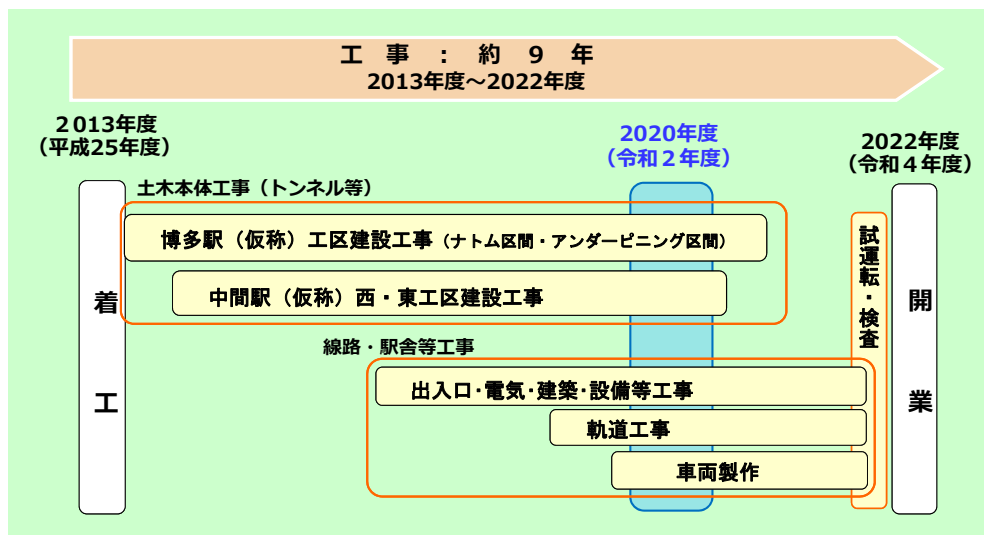
1. 全体スケジュール

七隈線延伸事業は、2011年度（平成23年度）より事業化へ向けた取組を開始し、鉄道事業許可や工事施行認可を取得するとともに、環境影響評価や都市計画決定等の手続きを進め、2013年度（平成25年度）に土木本体工事に着手し、2016年度（平成28年度）には中間駅（仮称）の出入口工事に着手した。

その後、平成28年11月8日に発生した道路陥没事故の影響を踏まえつつ、安全な施工を最優先に工程を調整・精査した結果、開業時期については、2022年度（令和4年度）を予定している。

また、全体事業費については、物価上昇や駅施設の利便性の拡充など、社会情勢の変化による影響や、道路陥没事故の影響を考慮した結果、約587億円を見込んでいる。

◆全体スケジュール



（参考）事業概要

- 延伸区間 / 天神南～博多
- 建設キロ / 約1.4 km（営業キロ約1.6 km）
- 建設費 / 約587億円
- 開業予定 / 2022年度（令和4年度）
- 利用人数 / 延伸区間で約8.2万人／日（需要定着後）
（うち、新規利用者数※は約2.3万人／日）
※マイカーなどから乗り換えて新たに地下鉄を利用する人数

2. 工事の進捗状況

（1）土木本体工事の概要

土木本体工事については、「中間駅（仮称）西工区」、「中間駅（仮称）東工区」、「博多駅（仮称）工区」3つの工区に分割し、2013年度（平成25年度）に工事契約を締結した。



工事名	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）西工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 中間駅（仮称）東工区建設工事	福岡市地下鉄七隈線 博多駅（仮称）工区建設工事
受注業者	大林・熊谷・大本・東田中 建設工事共同企業体	銭高・日本国土・九建 建設工事共同企業体	大成・佐藤・森本・三軌・西光 建設工事共同企業体

（2）土木本体工事の進捗状況

■中間駅（仮称）西・東工区の状況

土木本体工事については、シールド掘進や駅舎部の構築がすべて完了し、駅出入口の構築などを進めている。その他、天神南駅から中間駅（仮称）の間では、軌道工事を実施している。

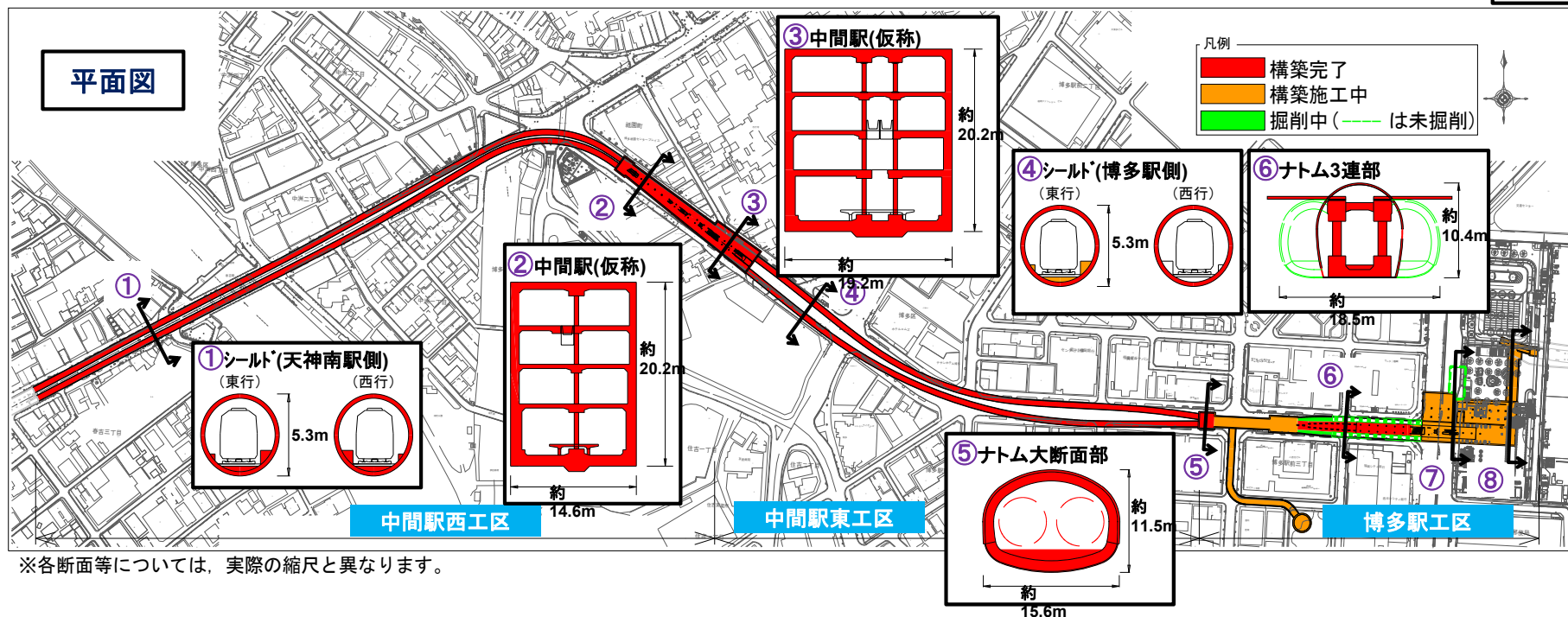
■博多駅（仮称）工区の状況

ナトム区間では、3連トンネル部（左右坑）の掘削及びパイプルーフの施工を進めている。また、アンダーピニング区間では、住吉通りや博多口駅前広場を占用しながら、駅舎部の構築（地下4～5階）を実施している。

2. 工事の進捗状況

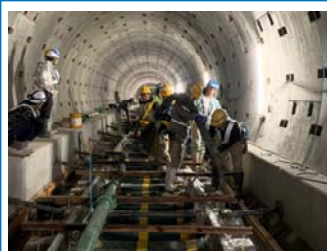
(2) 土木本体工事の進捗状況

令和2年10月末時点
建設部工事事務所



※各断面等については、実際の縮尺と異なります。

中間駅西工区



①軌道工事(東行)



②プラットフォーム

中間駅東工区



③駅舎構築(地下1階)



④シールドトンネル(東行)

博多駅工区(ナトム部)

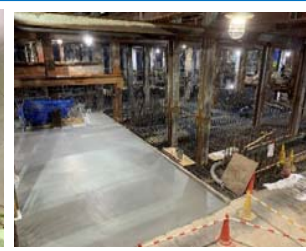


⑤ナトム大断面部

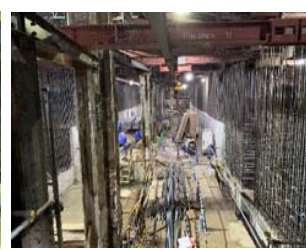


⑥ナトム3連部

博多駅工区(開削部)



⑦駅舎構築(地下5階)



⑧駅舎・連絡通路構築(地下5階)

